

第25回福岡県公立大学法人評価委員会 議事要旨

1 日時

平成23年10月21日（金） 13:00～

2 場所

博多サンヒルズホテル 3階 扇寿の間

3 出席者

齋藤委員長、中村委員、新田委員、藤田委員、両角委員（尾形特別委員欠席）

4 議題

- (1) 新委員の紹介
- (2) 第2期中期目標案について
- (3) 第2期中期計画案について
- (4) その他

5 議事概要

(1) 平成23年9月22日付けで就任した新委員の紹介が行われた。

(2) 議題（2）について

事務局から中期目標案の修正箇所の説明後、委員による審議が行われ、案のとおり了承された。

(3) 議題（3）について

事務局から中期計画における三大学共通事項等の修正箇所について説明、福岡県立大学、九州歯科大学及び福岡女子大学から中期計画案の修正箇所の説明後、委員による審議が行われた。

委員からの主な意見は次のとおり。

〈福岡県立大学の中期計画案に関する意見〉

○評価指標の「就職先アンケート：良好評価80%以上、卒業生アンケート：良好評価80%以上」について、良好評価はアンケートの作り方でどうにでもなる。むしろ重要なのは、アンケートをして、どこが評価されて、どこが問題なのかということ把握することである。良い評価であることを達成目標にしなくても良いのでは。

○評価指標の「辞退率：25%以下」について、何故辞退する学生がいるのかという理由を把握した上で、その対策を立てて、その達成目標といったところまでいかないと、なかなか変わらないのではないかと。

○「三大学事務の共同実施」について、目的が分かりにくい。何を目標にして

いるのか明確でない。

〈福岡女子大学の中期計画案に関する意見〉

- 「私費外国人受入留学生の受け入れ国の多様化」について、女性の存在は今後グローバル化が更に進む中で、すごく大きな力を発揮すると思う。そういう面で、福岡女子大学が、福岡に在ってアジアに向かってという特色を、学力もさることながら、人を育てるという意識で、グローバルな視点で考えていただきたい。
- 新学部生の就職問題については早い取組が必要である。
- 「女性の生涯学習の拠点化」について、まだ本格的にやっている大学はあまりない印象を受ける。女子大ほどこういうところはチャンスがあるのではないか。

〈九州歯科大学の中期計画案に関する意見〉

- 実施事項「教育力向上のための教育力評価システムの開発」の内容の「教育活動に関する情報を開示する。」について、この表現だと社会への教育情報の発信と誤解を与えるのではないか。「学生の授業評価等の結果を本人（教員）に返して、授業改善に役立てる」等とした方が良いのでは。
- 「県立三大学連携による社会貢献共同プログラムの実施」について、できるだけ具体化してやっていただきたい。
学生が主体的に行う三大学連携の活動も推進されたい。
- 「事務部門の基幹業務の外部委託」について、給与支給事務や旅費事務が基幹業務と言えるのか。「基幹」は不要ではないか。